

## 連絡事項

### 採点方法等

1. 課題3については、課題終了者を優先して採点します。
2. 課題3の競技委員による光損失の測定(競技終了後すぐ)の際には、選手と登録指導員1名が立ち会うことができます。
3. 公表した配点表に、「測定法」という項目がありますが、これは、「測定を実際に行ったかどうか」「正しい測定法か(例:光コネクタの清掃を行っているか)」を見ます(競技委員による確認は、毎回行うわけではありません。ただし、一度は必ず確認します)。xTPのフリーケーブルの試験は必要ありません。また、この測定は、原則として対象となる線路(現在、施工している線路)が完成した時点での測定を対象とします(つまり、最後に測定試験してください)。線路構築中に、区間区間での測定は、対象としません。ただし、区間区間での測定の最後に(結果的に)全体測定となる、ことはOKとします(例えば、光源を片端に繋いだまま作業をし、パワーメータを区間区間でつなぐ場合。あるいは、OTDRを繋いで試験する場合)。さらには、OTDR、OLTSでの試験、どちらも可としますが、最終的に競技委員の測定は、OLTSで行いますので、ご了承ください。
4. 課題5の点数を変更しました。
5. 配点表の「品質確保・向上作業・丁寧作業」は、加点方式で採点します。つまり、「良い」と思われる作業のみ、例えば0.5点ずつ加点していきます。従って、必ずしも満点が出るわけではありません。配点上の満点＝最高点、と考えてください。また、「良い」の基準は、「それを行うことにより、多少なりとも時間がかかる or 工程的に不利である or 品質確保に相当程度注意を払っている」です。過去に行われた作業は、公開されたものと考え、原則的に加点の対象とはなりません(ただし、今年度も他者があまり行っておらず、競技委員が前述した基準に合致していると認めた場合は加点します)。

### その他

1. 課題4における測定器の設定の有無、パラメータの種類は、22日に公開します。
2. 終了の要件となる自主点検表は、終了時に見える位置に置いてください。
3. 22日のAMの説明時に、最終的な質問を選手からのみ受け付けます(公開の場で)。